

衆議院総務委員会ニュース

【第 217 回国会】令和 7 年 2 月 13 日（木）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 行政の基本的制度及び運営並びに恩給、地方自治及び地方税財政、情報通信及び電波、郵政事業並びに消防に関する件

・村上総務大臣、富樫総務副大臣、古川総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）福原淳嗣君（自民）、高松智之君（立憲）、おおたけりえ君（立憲）、西川厚志君（立憲）、お
おつき紅葉君（立憲）、守島正君（維新）、黒田征樹君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

福原淳嗣君（自民）

- （1） 地方活性化における D X と G X の政策的相乗効果
- （2） 広域的な消防力の展開についての総務省の見解
- （3） 緊急自然災害防止対策事業費の対象を拡充する必要性
- （4） 人口減少が進む中における郵便局ネットワークの活用についての総務省の見解

高松智之君（立憲）

- （1） S N S 等における闇バイト募集投稿への対策
 - ア 総務省のこれまでの取組と今後の課題
 - イ プラットフォーム事業者に求められる責務
- （2） 消防・防災
 - ア 消防団員の人材確保への課題
 - イ 防災教育に関する取組
 - ウ 消防防災分野の技術開発と海外展開に向けた取組状況
- （3） 生成 A I
 - ア 悪用リスクに対する総務省の認識
 - イ N I C T の大規模言語モデルに関する研究開発状況と今後の展望
- （4） 会計年度任用職員制度
 - ア これまでの制度運用における課題と今後の改善点
 - イ 処遇改善に向けた大臣の決意

おおたけりえ君（立憲）

- （1） 地方公共団体情報システムの標準化
 - ア 標準準拠システムへの移行の進捗状況
 - イ 令和 7 年度末の移行期限に間に合わない場合の住民サービスへの影響
 - ウ デジタル基盤改革支援補助金の補助上限額の引上げに対する総務省の見解
 - エ 標準化が達成された末に大臣が描く未来像
 - オ ガバメントクラウド利用による課題並びに利用するメリット及びしない場合のデメリット
 - カ 運用経費の増加に対する国の財政支援及び経費削減への取組
- （2） 過疎地の老朽化した公共施設等の除却
 - ア 除却できていない施設の総数
 - イ 過疎対策事業債の対象とする要望に対する総務省の見解
 - ウ 速やかに除却する必要性

(3) 消防・防災DX

- ア 山間部におけるDX技術を活用した消防・防災力の強化策
- イ 消防におけるドローンの活用
- ウ 消防技術の省力化・無人化のための取組

西川厚志君（立憲）

東京一極集中の是正

- ア 広島県、愛知県及び宮城県で人口の転出が転入を上回る事情
- イ 是正に向けた総務省の取組
- ウ 多極分散型社会を実現できるとする根拠
- エ 首都圏選出の国会議員としての古川総務大臣政務官の見解
- オ 首都機能移転についての大臣の見解

おおつき紅葉君（立憲）

- (1) 人口減少についての村上総務大臣の見解
- (2) 公共交通や上下水道等を一体的に運営すべきとの意見に対する政府の見解
- (3) 生活に必要な行政サービスを十分に提供することができない地方公共団体への対策
- (4) 特別交付税の算定に向けた除排雪経費に係る実態調査の状況
- (5) 漁港の浚渫に緊急浚渫推進事業債を活用することの可否
- (6) 地方公共団体情報システムの標準準拠システムへの移行経費及び移行後の運用経費に対する地方財政措置
- (7) 法定外税の新設等に係る総務大臣同意の基準並びに宿泊税の税率及び上限額についての考え方

守島正君（維新）

- (1) 持続可能な地方行財政のあり方研究会
 - ア 設置の趣旨及び経緯
 - イ 地方制度調査会との関係性及びそれぞれの役割
 - ウ 取りまとめへ向けた今後のスケジュール
- (2) 今後の国と地方の在り方や統治機構の在り方に関する議論に対する大臣の見解
- (3) 標準準拠システムへの移行の進捗状況
- (4) 基幹業務システム以外のシステム共通化の進捗状況

黒田征樹君（維新）

- (1) 物価上昇の実態を踏まえて地方財政計画における維持補修費や投資的経費の伸び率を見直す必要性
- (2) インフラの更新時期を迎えている地方自治体への支援を手厚くするべきとの意見に対する大臣の見解
- (3) 国税と地方税の税源配分を5対5とすることに対する大臣の見解